

2年生の挑戦 ～おもちゃランド～

みなさん、こんにちは。

「失礼します。校長先生、お願いがあってきました。」と、2年生の児童3名が校長室を訪ねてきたのは今週の初めてでした。「お願い」の内容を聞くと…

- ・生活科の学習で、1年生を招待して『おもちゃランド（2年生手作りのゲームで楽しむ会です）』を開いたら、面白くて1年生がとても喜んでくれた。
- ・せっかくなので他の学年も招待したい。休憩時間に『おもちゃランド』をやらせてほしい。ということでした。

実は、2年生の児童が「お願い」にやって来るということは、事前に担任から聞いていました。1年生が喜んでくれたことが嬉しくて、「他の学年の人も招待したい!」と、児童の方から声があがり、その声に賛同する児童がたくさんいたことから、2年生みんなでどうするかを話し合い、代表者3名を決めて、校長に「お願い」に行くことになったとのことでした。校長室に来た3名の児童は、『おもちゃランド』をやりたいという思いをしっかりと私に伝えてきました。それを聞いて、私はOKを出し、自分たちで話し合った上で校長に「交渉」に来たことを褒めました。



もちろん、2年生の児童ですから、自分達だけでここまで進めることはできなかつたでしょう。担任がアドバイスをしながらか、児童の動きを促してきたのだと思います。何より「他の学年の人も招待したい!」と

いう声があがったとき、「そんなことはしません（できません）。」ではなく、「どうしたらいいかな（実現できるかな）。」と返したことが、今回の一番のターニング・ポイントだったと思います。もう一つ言えば、校長を使ったこともうまいなと思いました。

宮園小は、学校教育目標の「自分を育て みんなで伸びる」のもと、「自立」「多様性の尊重」「挑戦」の3つをキーワードとして日々の教育活動に取り組んでいます。今回の『おもちゃランド』の取組は、小さな2年生の少し背伸びした「挑戦」でした。本校では、このように児童の「挑戦」を促す、後押しする、支援するというのも、教職員の大切な役割だと思っています。これからも「挑戦」がもっともっと学校中に広がってほしいと思います。

他の学年を招待しての『おもちゃランド』は10月13日・14日の2日間、大休憩に開かれました。朝会時には、2年生代表が放送で全校に呼び掛けも行いました。多くの児童が（先生も）参加して楽しんでいました。これも優しさ・温かさ宮園小の児童の良さだと思います。そして、何より、2年生の満足そうな表情がとても印象的でした。

